

## 学力向上推進事業～2地区の取り組みより～

今年度は、呉羽中学校区、榆原中学校区の小・中学校が学力向上推進事業に取り組みました。工夫された実践や小・中の相互協力等、多くの取り組みが行われました。具体的な取り組みや成果について紹介します。

### 「9年間を見通した学力向上を目指して」

呉羽中学校 呉羽小学校 長岡小学校 寒江小学校 老田小学校 古沢小学校 池多小学校

呉羽中学校区では、9年間を通して児童生徒の学習スタイルや家庭学習への取り組みが継続することによって学力向上につながると考え、共通実践として、「学習規律の定着」、「授業改善」、「家庭学習の習慣化」の3つに取り組みました。

「学習規律の定着」では、「授業の開始時刻を守る」等の共通項目ができるように徹底しました。研修会等による教員の意識向上を図るとともに、全校児童生徒へ学習規律の説明を行うなど、全校体制で取り組みました。「授業改善」では、小中合同で、上越教育大学大学院教授の大場浩正氏をお招きし、「協同学習に基づく授業づくり～ホワイトボード・ミーティングを活用して『主体的・対話的で深い学び』を育む～」と題してワークショップ形式の研修を実施し、各学校で学び合い活動等を取り入れた授業を行いました。「家庭学習の習慣化」では、家庭学習の具体的な取り組み方法の提示や学習ノートの指導、強化週間等を設けての取り組みを行いました。これらの共通実践から、どの学校においても、落ち着いて学習に取り組んだり、児童生徒同士が意欲的にかかわって話し合ったりする姿が多く見られるようになりました。



＜小中合同研修会の様子＞

### 「小・中併設校の利点を生かした学力向上への取り組み」

榆原中学校 神通碧小学校

榆原中学校区における取り組みの特徴は、併設校（榆原中学校・神通碧小学校）としての連携にあります。まず、連携のための土台づくりとして両校の休み時間、清掃時間等の時間帯を調整し、授業開始のずれを10分以内に収めました。具体的な連携としては、小6・中1合同総合学習、合同体育大会、合同学習発表会、合同ボランティア活動等があります。活動を通じて、小学生は中学生への憧れをもち自らの将来の姿を思い描いたり、中学生は小学生の模範となるよう心掛けたりするなど、それぞれが活動に対して意識や意欲を高めています。

また、教員研修では、小・中互見授業週間を年間4回実施し、互いの授業に関して意見を交換し、理解を深めています。さらに小学校では「ペア学習・グループ学習」、中学校では「ICT機器の活用」をテーマに授業改善を進めています。

これらの連携による教育活動の工夫や充実を今後も進める中で、児童生徒の「課題に集中して取り組む力」、「一つでも上を目指す向上心」、「自信をもって自分の力を発揮しようとする心」等を育てていきたいと考えています。



＜国際協働学習「アートマイルプロジェクト」  
小・中合同総合学習で作成した壁画を囲んで＞